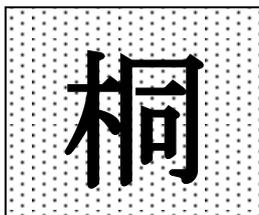


大東文化学園
教職員組合連合機関紙
第1056号
2012年10月26日発行



E-MAIL:daito-un@boreas.dti.ne.jp
http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/
p/f (03) 3935-9505

本号の内容

- ◆大学教職員組合定例総会のお知らせ
- ◆大東文化学園経営分析研究会報告（2回目）
- ◆みんなで大学財政を理解しよう（財政分析研究会3回目のお知らせ）

◆大学教職員組合定例総会のお知らせ

■■大学組合員のみなさまへ■■

2011/2012 年度大東文化大学教職員組合 定例総会にご参加をお願いいたします！

11月12日(月) 18時半より板橋校舎1号館208会議室において

大学教職員組合2011/2012年度定例総会を開催します。本年度の活動の総括と、次年度に向けた活動方針の決定および新執行委員の選出を行いますので、万障お繰り合わせのうえご出席下さいますようお願いいたします。

出欠票（郵便はがき）を同封いたしましたので、11月2日(金)までにご返送下さいますようお願いいたします。欠席なさる場合は、はがき下部の委任状にご記入の上、ご返送下さい。

出欠席に関わらず、ご返送いただきますようよろしくお願い申し上げます。

議 事

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 開会の辞 | 5. 選挙管理委員選出 |
| 2. 委員長あいさつ | 6. 新執行委員・新会計監査選出 |
| 3. 議長選出 | 7. 閉会の辞 |
| 4. 議案審議 | |
| 第一号議案 | 2011/2012年度活動報告 |
| 第二号議案 | 2011/2012年度会計報告・会計監査報告 |
| 第三号議案 | 2012/2013年度活動方針案 |
| 第四号議案 | 2012/2013年度予算案 |

なお、ご欠席の方は是非ともご意見をメールその他で組合書記局までお寄せください。

◆大東文化学園財政分析研究会報告◆

2 回目「消費収支計算書と貸借対照表を読む」前編

講師 山口不二夫

(明治大学大学院教授)

前号でご案内しましたように、組合は、独自に財政分析ができるようにすることを目標に、9 月から 5 回の予定で大学財政分析の専門家をお招きして、毎月大東文化学園の経営分析の研究会を開催しています。2 回目(10 月 23 日)の講演内容をまとめてお伝えします。

<はじめに>

前回の研究会では企業会計と学校法人会計の違いと、駒澤大学と大東文化学園との比較を行いました。本日は、明治大学、早稲田大学、慶応大学の資金収支計算書、貸借対照表等の資料を比較して、それぞれの特徴や長所短所を見ていきます。

<貸借対照表を読む>

明治大学

まず、各校の貸借対照表から見ていくこととします。貸借対照表における明治大学の特徴はこの 1 年間で有形固定資産が約 95 億円増えていることです。その内訳は、建物が 50 億円増、構築物が 17 億円増、教育研究用機器備品が 12 億円増です。有形固定資産は土地を除いて、毎年 50 億円程度、減価償却していきますから、100 億円ぐらい有形固定資産が増えたということで、実際の投資総額は 150 億円になります。それに対して、その他の固定資産のほとんどは金融資産で、約 45 億円減っています。これは設備投資のために建設引当資産を取り崩しているためです。明治大学では、このほかにもキャンパスの整備計画があり、これが進めば今後さらに投資額は増えるでしょう。このように新校舎を作ることによって、施設や事務組織の分散化して、経営的に非効率化することとなります。流動資産は 317 億円で、昨年度に比べて、約 20 億円増えています。流動資産のほとんど金融資産です。2010 年度末の明治の金融資産はその他の固定資産内の各種引当資産と流動資産を合わせて総額で 763 億円、これが 2011 年度末に 691 億円減っています。それでも、資産総額 2,238 億の約 3 分の 1 弱が金融資産です。私大にとって金融資産の管理は重要であり、早稲田、慶応、駒沢はその管理に失敗しています。

次に負債を見てみましょう。明治の特徴は有利子負債ゼロ、つまり無借金経営ということです。従来、大学では退職給付は負債の中で引当金(退職給与引当金、年金引当金)としています。明治大学では、これまでその同額を固定資産に退職給与引当資産および年金引当資産として積み立ててきました。2011 年度から退職給与の積み立て比率を 50%から 100%に積み増している関係で、退職給与引当金は 107 億円(2010 年度)から 97 億円積み増して 204 億円(2011 年度)となっています。しかし、その他の固定資産内の退職給与引当資産は引当金と同額にまでには増やしていません。

次に基本金の部を見ていきます。1 号基本金は過去の固定資産等への投資額で、これが過去 1 年間で 1962 億から 2088 億に増えています。1 号基本金は取り崩すことは原則ないので、これが初期投資額の意味を持ちます。

2号基本金は今後の計画に対する積立で、そのため、建設計画が進んだ2011年度末には、34億円減少しています。3号基本金は奨学金・研究基金に対する積立で、1号基本金同様に、これも原則取り崩すことはありません。明治では約5億円減少しており、取り崩せるように法令が変わったのかもしれませんが。4号基本金は法人運営のための運転資金で、消費支出の12分の1程度を積み立てておくものです。消費収支差額は515億円の支出超過ですが、前年度末に比べて175億円も増えています。これは退職給与引当金の積立額を50%から100%に変更した影響と考えられます。

早稲田大学・慶応大学

早稲田大学の貸借対照表を見ていきます。早稲田大学の資産総額は3,408億円で明治の1.5倍の規模です。明治が無借金であったのに対して、早稲田は長・短借入金、学校債などの有利子負債があります。早稲田は収益事業を行っている関係で、土地信託資産(土地・建物)があります。2011年度末の金融資産は969億円で、これも明治の約1.5倍に相当します。

貸借対照表の比較(2012年3月末、単位：億円)

法人名	明治大学		早稲田大学		慶応大学		大東文化	
	2011.3	2012.3	2011.3	2012.3	2011.3	2012.3	2011.3	2012.3
資産合計	2,209	2,238	3,374	3,408	3636	3627	1051	1062
固定資産	1,871	1,921	3,042	3,071	3330	3341	909	894
有形固定資産	1,381	1,476	2,268	2,256	2162	2182	389	406
その他の固定資産	490	445	774	815	1168	1159	520	488
流動資産	338	317	332	337	306	286	142	168
負債合計	383	498	525	660	963	927	141	147
固定負債	226	327	279	359	628	617	63	60
長期借入金・学校債	0	0	89	55	136	117	7	6
退職給与引当金	107	204	107	221	285	285	49	46
年金引当金	117	121	—	—	196	199	—	—
流動負債	204	171	246	301	335	310	78	87
短期借入金	0	0	9	39	42	30	1	1
基本金合計	2,166	2,255	3,750	3,752	3901	3956	883	919
1号基本金	1,962	2,088	3,243	3,279	3249	3295	652	682
2号基本金	131	97	184	147	136	134	0	0
3号基本金	42	37	254	257	425	429	220	225
4号基本金	31	33	69	69	91	97	11	11
消費収支差額	-340	-515	-901	-1,003	-1228	-1255	27	-4
金融資産合計	763	691	917	969	1241	1216	652	643
借入金合計	0	0	98	94	178	147	8	7

早稲田の1号基本金は3279億円、2号基本金が147億円、3号基本金が257億円、4号基本金が69億円となっています。明治同様、前年度に比べて退職給与引当金が2倍になっており、これは退職給与の引当率を50%から100%にしたためと考えられます。また前年度に比べて長期借入金が減って、短期借入金が増えています。これは長期借入金の返済期限が1年以内に迫ったためと考えられます。消費収支超過額が901億円から102億円増えて1003億円になっているのは退職給与引当金の積み増しによる影響です。

慶応の資産総額は早稲田とほぼ同額の3627億円ですが、しかし金融資産は早稲田が969億円に対して慶応は1216億円です。慶応がこれらの金融資産を運用して、前回取り上げた駒沢大学と同様に、多額の損失を出しました。負債総額を見ると慶応は927億円で早稲田の660億円の1.5倍です。その内訳をみると、慶応は借入金が多く147億円です。また退職給与引当金の額も多く285億円です。年金もオフ balan

スに置くのではなく、法人会計内に置いており、資産の中に同額の年金引当資産があります。

基本金の部を見てみると、慶応の基本金の総額は 3956 億円、早稲田が 3752 億円ですから 200 億円ほど多くなっています。1号基本金は 3295 億円、2号基本金が 134 億円、3号基本金が 429 億円、4号基本金が 97 億円です。1号、2号基本金は早稲田とほぼ同水準ですが、3号基本金が 429 億円と早稲田より 1.7 倍となっており、教育研究基金を充実させていることがわかります。

慶応の場合、医学部もありますから、病院施設も資産の中に含まれています。当然教職員数も多いため、退職給与引当金の額も多くなり、教育研究基金も多く必要であると考えられます。

大東文化学園との比較

大東文化学園は、資産規模で明治の 2 分の 1、慶応早稲田の 3 分の 1 です。しかし、金融資産では明治とあまり変わらず、金融資産が多いことで有名な慶応の 2 分の 1 です。借入金も、わずか 7 億円に過ぎません。2011 年度、明治と早稲田が退職給与引当金の積み増しで赤字となったのに比べると、大東文化大学は慶応と同じく、すでに 100%基準で引き当てており、特に引当金の積み増しは行う必要はありませんでした。このように、財政的に大東文化学園は超優良と言えます。問題点は、資金運用にあると言えます。

<<後編は次号に続く>>

◆みんなで大学財政を理解しよう

—財政分析研究会（3 回目）開催のお知らせ—

大学財政分析の専門家をお招きして、毎月 1 回（計 5 回）の予定で、大東文化学園の財政分析の研究会を開催します。「大学財政はわかりにくい」というイメージがありますが、この研究会では、財政分析を初歩から誰にでも分かりやすくご説明いただきます。最終的には組合で分析能力を持ち、大学財政を監督できること目標に勉強していく予定です。奮ってご参加ください。

記

学園財政分析研究会(第 3 日目)の開催

日時：2012 年 11 月 20 日(火)午後 6 時 30 分より

場所：大東文化会館 K-401

演題：「3 回目：基本金とは何か」

講師：山口不二夫（明治大学・大学院グローバルビジネス研究科教授）

著書『私立大学の財政分析ができる本』大月書店(共著)ほか多数

本紙は大学組合 web サイト <http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。併せてご利用いただければ幸いです。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。